

成果指標について

【考え方】

計画の策定に当たり、その後の評価や施策の推進に活用するため、あらかじめ成果指標を設定する必要がある。

指標は、計画に掲げた各基本目標の要素を含むものとする必要があると同時に、市民に分かりやすくする必要がある。また、目標値については、現状値やさっぽろ子ども未来プラン（後期計画）の類似指標を踏まえたものとする。

【成果指標】

■ ボランティア活動をしたことがある子どもの割合

現状値（H21年度）：50.2%

目標値（H26年度）：60%

■ 子どもが、自然、社会、文化などの体験をしやすい環境であると思う人の割合

現状値（H21年度） 子ども：42.4% 大人：55.4%

目標値（H26年度） 子ども：60% 大人：60%

■ 子どもの権利が守られていると思う人の割合

現状値（H21年度） 子ども：48.3% 大人：48.4%

目標値（H26年度） 子ども：60% 大人：60%

■ 子どもの権利条例の認知度について『聞いたことがある』と答える人の割合

現状値（H21年度） 子ども：35.6% 大人：51.0%

目標値（H26年度） 子ども：60% 大人：60%